



## 鹿児島から挑戦

オールかごしま住まいのネットワーク  
会長 有村 吉孝〔株式会社 住まいず〕

平成21年に「かごしま材」を使用した木造住宅の開発に関心のある鹿児島県内の建築関係事業者15社が、今日まで築き上げた伝統とコンピューターやCADを活用した「安全・安心・健康な住宅供給」を目指し、オールかごしま住まいのネットワークを設立しました。会員は伐採業者・製材所・プレカット工場・建設会社・設計事務所・構造計算事務所はもちろんの事、建具屋・左官業・造園業・家具屋・畳屋さんまでの一貫生産できるメンバーで始めました。

平成23年度に鹿児島県のかごしま材利用推進事業の採択を受けて、杉板材を活用した木造住宅用構造パネルの開発を開始しました。平成24年度には林野庁の地域材供給倍増事業の木造住宅・木造公共建築物等の構造部材開発等支援事業に採択され、「多機能なパネルで強固な鹿児島型住宅」の開発として更なるバージョンアップを目指す事になりました。この間、鹿児島県工業技術センターにおいて構造強度実験を実施して性能評価等のアドバイスをいただきながら、改良を積み重ねてきました。その結果、杉板材を斜めにして杉枠材に釘止めすることにより、無垢材のみで長期優良住宅の要求する耐震性能を確保できる多機能杉パネル「どんとパネル」を開発することができました。このパネルは、汎用的な木工機械だけで高耐力のパネル製作が可能で、鴨居・まぐさ・間柱・下地胴縁を工場で組み込みます。そのため、

建設現場ではパネルを軸組材に釘打ち固定するだけで、壁・床・天井・屋根の下地工事が完了しますので、工期短縮や施工性向上に効果があります。また、このパネルには通気性を持たせているので、遮熱二重通気工法に有効です。すでに、鹿児島県霧島市・同始良市・宮崎県・長崎県で「どんとパネル」を使用した住宅を建設しましたが、上棟の日、屋根・壁・床に杉板パネルが付いているため、施主の方から「綺麗で強い家ですね」と好評で、説明しなくてもパネルがその強さを物語る訴求性に優れた商品となっています。

平成25年3月には、国土交通省の大臣認定を取得するために、公益財団法人 日本住宅・木材技術センターで最終耐力試験を実施しました。また、国土交通省に登録された建築確認検査機関・住宅性能評価機関において構造評価・性能評価の審査を受けるなど、パネル工法を全国に展開するための取り組みを進めています。現在、東北地区の優良住宅協会と連携して東日本大震災復興住宅の工法として採用され、更に、鹿児島県薩摩川内市・福井県・埼玉県・茨城県・福井県・長野県・高知県においても住宅建設が予定されています。

オールかごしま住まいのネットワークは、木造住宅の新しいページを作るために、構造見学会等を通じて広く消費者の方々に鹿児島発多機能杉パネルの良さを情報発信し、「本物の木で、頑丈な木の家」を提供する団体で有りたいと思います。



パンフレット写真



水平構面・耐力壁の面内せん断試験



「どんとパネル」を使用した住宅の建設